

第 62 回 東葛しぜん観察会

長田谷津の初夏の自然に触れる

山口正明（船橋市）

日 時：6月 27 日（日）9:30:～12:00 天気 曇り

場 所：市川市 大町自然観察園

参加者：大人 13 名、小学生 2 名、指導員 12 名、合計 27 名

担当指導員：片野和子、塚原晃子、山口正明

梅雨という時節の中、当日朝まで開催が危ぶまれましたが、なんとか天気も保ってくれました。「谷津」の地形の特徴と生物多様性にとっての重要性を説明した後、谷津に入りましたが、いきなりアオダイショウのお出迎え。木道脇の手すりの上にゆったりと鎮座している大将の脇を、皆でそろそろと通過。その時はコワゴワでしたが、「久しぶりにヘビを見て、豊かな自然を感じた」との声も。

今回、家族連れて小学生の女児 2 人が参加しましたが、視線が低いためもあるのか、生き物をよく見つけます。「オー！」とか「アソコ！」と言いながら、指差す先には、ヒメギス、カノコガ、イオウイロハシリグモ、ナガコガネグモ、などなど。

トンボは、オオシオカラトンボ、クロスジギンヤンマなどが美しい飛翔。そして、白眉は、何といってもオニヤンマの羽化。前週の下見段階までは、未だ羽化は始まっていないようでしたが、今回、ドンピシャのタイミング。3カ所で羽化直後の黄色と黒色の美しいコントラストボディーの成虫を見る事ができました。一般参加者はもちろん、指導員も（の方が？）興奮、オニヤンマの季節の始まりです。

野草では、ハンゲショウ、ドクダミなど白色が目立ったほか、湿地性のガマ、フトイ、ウキヤガラ、クサヨシ、コウホネなど、特徴的な開花の姿を見ることができました。

今回初参加の男性は「こんな身近に素晴らしい自然が残っていることに驚いた」と。また、昨年 9 月の大町観察会に参加した女性は、「季節が違うと姿も違い、新鮮だった」と。梅雨の合間の観察会を、皆さんそれぞれ満喫したようです。



オニヤンマの羽化 左:ヨシ原 右:バラ園の側溝